


無理なく、長く、着実に 地域に根差す、見守りのネットワークを

～認知症の人の見守り・声かけ・搜索訓練、体験会を通して～

2021.01.27

すいしんいんセッション オンラインでつながろう！  学びあおう！

2020年度 研修 事例報告

燕市の状況

R2年11月末現在

人口	78,719人
世帯数	30,093世帯
面積	110.96km ²
65歳以上人口	24,417人
高齢化率	30.02%
日常生活圏域	4圏域
地域包括支援センター数(すべて社会福祉法人への委託)	4か所
推進員の配置(専任:H26年4月社会福祉法人への委託) H28年1月から燕市役所に出向	1人

活動初年度に立てた計画（抜粋）

地域支援体制の整備

- ① 支援ネットワークの構築
- ② 地域ケア会議への参加
- ③ 認知症カフェの開催
- ④ 研修会・事例検討会の開催
- ⑤ 専門性を活かした個別支援
- ⑥ 「認知症の人と介護者のつどい」の開催
- ⑦ **認知症の人の見守り・声かけ・搜索訓練の実施**
 - ・はいかいシルバーSOSネットワークと協働して、燕市内3地区での見守り・声かけ搜索訓練を実施する。

初年度 認知症の人の見守り・声かけ・搜索訓練の開催に向けて

◎第1回市民セミナー 講師：福岡県 大牟田市役所 池田武俊氏

- 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり
- あらためて地域の実情を知る ⇒ 今年は無理(°Д°)ノ
- 若年性認知症の人の交通死亡事故
- 包括として、推進員として、個人としても関わりのある人
- 支援の振り返り、今必要な支援は何か？
 - ☆ 認知症についての理解があるまちへ
 - ☆ 地域全体で見守りの出来るまちへ

今、できることは？

第11回徘徊SOSネットワーク模擬訓練（白川小学校区） 2015.9.21



初年度 認知症の人の見守り・声かけ・捜索訓練の開催に向けて

認知症見守りサポーター講座を無理なく開催

- 1.住民主体での開催（**所属包括と関係性を築けていた、まちづくり協議会の主催**）
- 2.協議会内の『**子ども見守りボランティア**』を主対象
- 3.事前説明を兼ねたサポーター養成講座と、会場周辺で1時間程度の声かけ訓練、2日間での開催
- 4.『**探す**』よりも『**予防 = 声かけ**』
- 5.**次の開催に繋がる仕掛け**

◎2日間の述べ参加者数 112人

- * 協議会役員10人 子ども見守りボランティア：18人 一般参加者：42人
- * 関係機関・施設職員など42人（**全包括+広域で活動できるCM、キャラバンメイト、サポーター等**）
- * 警察の参加なし 消防は見学のみ
- * **広報 新聞報道 = 2社 TV = 1社（NHK関甲信越） 燕市長のブログ**

～6年目 見守り・声かけ訓練の定着・拡大

1.包括中心での開催

- ・毎年市内3地区での開催、6年間で延べ1,300人超
- ・『訓練』から『体験』へ、地域の状況に応じた開催

2.実際に有った出来事を伝える

- ・訓練直後、道に迷っていた認知症の人に市民が気付き、自宅へ送る
- ・「訓練で学んだ知識があれば、救えた命があった」

3.燕市高齢者等見守り事業の開始

- ・おかえりつばめ～ルの配信と事前登録制度開始 *モニタリングも開始

4.隣接市村との共同訓練 ⇒ 情報伝達経路の確認

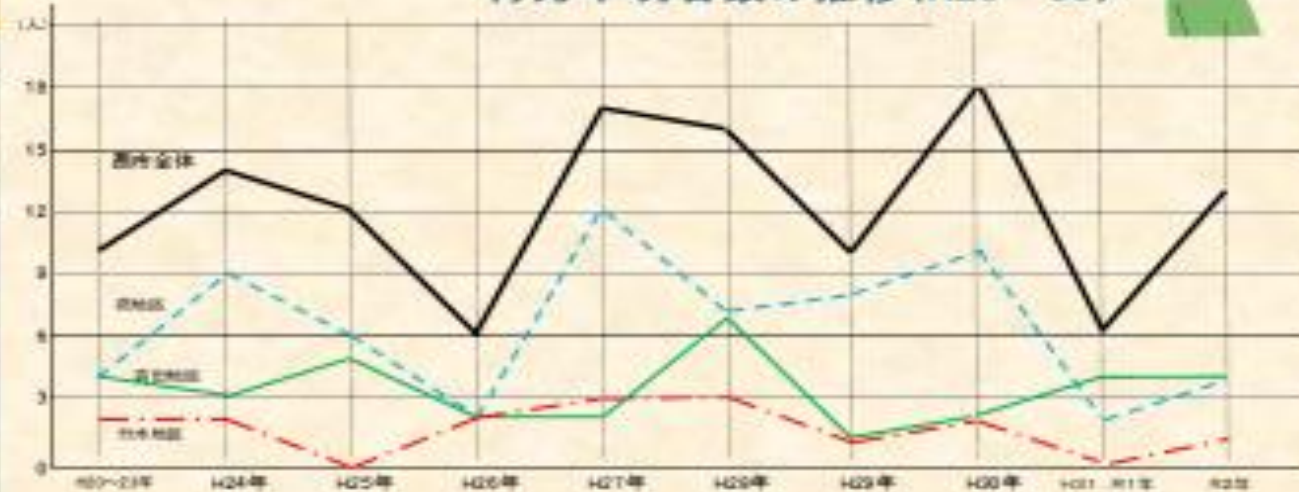
- ・県高齢福祉保健課、県警（本部 所轄署）、JR、自治体、推進員
- ・他自治体との連携 対象となる家族へのフォロー 緊急時の運用

平成31年・令和1年 行方不明者の状況

新潟県警察 燕警察署 はいかいシルバーSOSネットワーク 連絡票より



行方不明者数の推移(H20～30)



行方不明者数の推移(H20～R1)

燕市分水地区地域包括支援センターに残る、燕警察署 はいかいシルバーSOSネットワーク 連絡票より

燕地区	男	女	計	分水地区	男	女	計
H20～23年	3	1	4	H20～23年	2	0	2
H24年	1	8	9	H24年	1	1	2
H25年	4	2	6	H25年	0	0	0
H26年	1	1	2	H26年	1	1	2
H27年	5	7	12	H27年	3	0	3
H28年	3	4	7	H28年	0	2	2
H29年	4	4	8	H29年	0	1	1
H30年	3	6	9	H30年	1	1	2
H31/R1年	4	0	4	H31/R1年	1	0	1
計	28	33	61	計	9	6	15



はいかいシルバーSOSネットワークは、行方が分からなくなった認知症高齢者などの早期発見・保護と、その後のケアを目的に、警察と消防、市役所、地域包括支援センターなどの関係機関やバス・タクシー介護施設、新聞店、ガソリンスタンドなどとネットワークを構築し、認知症高齢者などが行方不明になられた時に、ファックス等で情報を共有し、早期発見を目指す仕組みです。

全国の警察に届け出があった、2019年の1年間に認知症かその疑いがある人の行方不明者は過去最高の17,479人となり、7年間で1.82倍となりました。

統計を取り始めた平成24年以降、毎年増加し、過去最多を更新し続けています。

新潟県内では178人で昨年より二人減りましたが、所在確認できた人が173人、そのうち15人が亡くされていました。



認知症の人にやさしいまち
模擬訓練実施中



認知症の人に見られる様子の一例

危うさ、困っている様子、不自然な行動



- 道路の真ん中を歩いている
- 周囲をキョロキョロ眺めている
- 車が来ていても、赤信号でも道路を渡ろうとする
- 同じところを行ったり来たり、何度も歩いている
- 道端に座り込む、お店などの入口に立ちつくす

- 何度も何度も、いろんな人に道を聞いている
- 夜中や早朝に、一人でもくもく歩いている
- パジャマで外出など、身なりが整っていない
- はだしやスリッパ、右と左でちがうはき物
- 寒いのにうす着、暑いのにあつ着
- カサなしで、雨の中を歩いている

※一人での対応が難しい、うまくないと感じたら、時間を置く、近くの人に応援を頼むのも方法です

見守りつばめ あんしんカード

認知症の人へかかわる時の心がまえ
 ～さりげなく、自然に～

- ① おどろかせない
- ② 急がせない
- ③ 心をきずつけない



小学生の皆さんへ 『こわい、むずかしい』と感じたら無理をしないで、先生やお家の人、お店の人などに知らせましょう

こまっている認知症の人を見かけたら・・・

- 見かけた時間と場所は？
- 男の人？女の人？ 服や持ち物は？
- どんなふう困っていましたか？

警察署：110 燕警察：94-0110

怪我・体調不良があれば救急車：119

燕市役所 長寿福祉課 地域支援相談係 77-8157

令和2年の訓練、体験会は・・・

- 新型コロナウイルス感染予防のため、軒並み中止・・・
- でも市内1か所のみ、形を変えての開催となりました

日時 11月20日（金） 午前9時30分～11時20分 途中休憩20分

場所 燕市立分水小学校 体育館内

対象 小学6年生70名

内容 認知症サポーター若竹の子 ～認知症について学ぼう～

主催 分水小学校区まちづくり協議会

協力 特別養護老人ホーム分水の里

燕市分水地区地域包括支援センター（+ 認知症地域支援推進員）

初年度 認知症の人の見守り・声かけ・捜索訓練の開催に向けて（再掲）

認知症見守りサポーター講座を無理なく開催

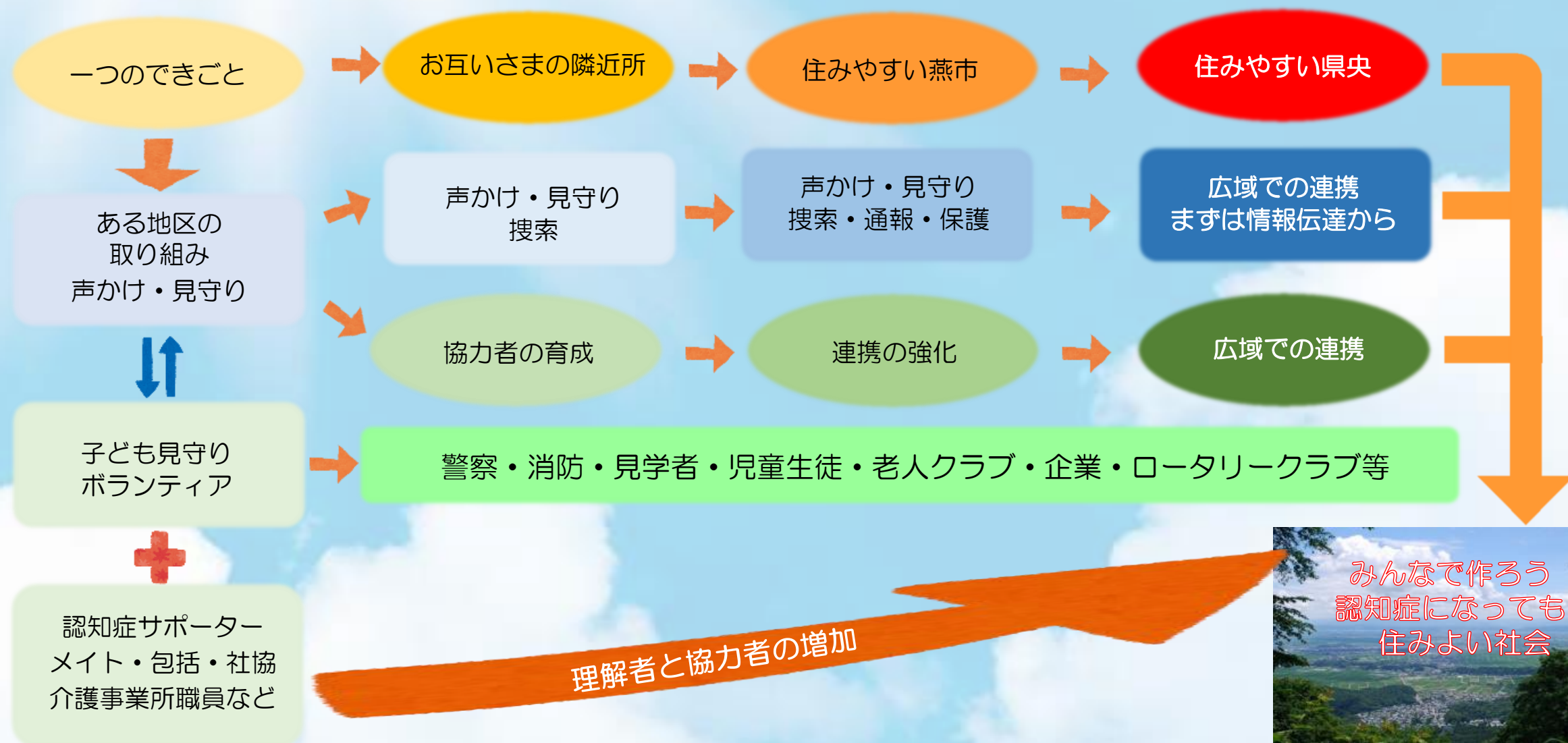
1. 住民主体での開催（所属包括と関係性を築けていた、まちづくり協議会の主催）
2. 協議会内の『子ども見守りボランティア』を主対象
3. 『探す』よりも『予防 = 声かけ』
4. 次の開催に繋がる仕掛け

住民スタッフ：10人（学校との折衝、連絡調整）

外部スタッフ：8人（当日のみ6人）

参加者：燕市立分水小学校 6年生70人 + 教員4人

『個から地域全体』への進展状況～模擬訓練を通じて～



★主役は住民、陰の主役は包括★≡
行政はみんなが活躍できる舞台を作る

最後に・・・

◎ 連携・協力体制の構築

- ① 推進員が一人では出来ることが殆どない、困ったら声を上げる
- ② 身近なこと、自分ごととして考えらえる事柄の提示、共感・共有
- ③ 意識して構築したネットワークと構築されたネットワークの活用
- ④ 引き、寄りを効果的に
- ⑤ 話易い雰囲気、何気ない会話
- ⑥ 「受け身」の有効性
- ⑦ 予定や連絡先をオープンに

燕市認知症地域支援推進員の活動について情報が欲しい方は



こちらからご連絡どうぞ！



facebook

力石雅博

燕市健康福祉部 長寿福祉課 内

燕市認知症地域支援推進員 力石雅博

TEL 0256-92-1111 (代表)

FAX 0256-77-8138

E-mail:nintisyou_tsubame2016@yahoo.co.jp